

【研究報告（2018年度）】

チーム② 学童期・思春期の学校適応支援・活力ある人間形成の研究チーム（②-2）
学校における新体力テストの効果的な活用と体育・スポーツ資質の
向上へ向けての取り組み

乾真寛^{*1)}、築山泰典¹⁾、田場昭一郎¹⁾、泉原嘉郎¹⁾、安方惇¹⁾

1) 福岡大学スポーツ科学部、*) 責任者

要 旨

平成30年度の取り組みにおいて、小学校の体育授業におけるサッカーやコーディネーショントレーニングの実技指導や講習会を実施した。また、水泳やスノーケリング教室では水に対する抵抗感や不快感が緩和されて、自発的に25m以上を泳げるようになるなど成果が見られた。体力測定サポートでは、生まれ月と体力について検討し、児童期においては1～3月生まれ（早生まれ）が4～6月生まれに比べ体力レベルが低いことを示した。次年度では、体力評価結果との連続性・一体感のある内容へ改良、普及に務める。

1. 活動状況

【キッズサッカー】

平成29年度に続き、今年度も福岡市内横手小学校および那珂小学校において、福岡大学サッカー部の学生スタッフとともに、次のポイントに重点を置いたキッズサッカーの授業を実施した(2019年1月、2月)。

- ・運動神経の効果的な向上
 - ・運動の苦手な子どもでも楽しく体を動かせる
 - ・仲間と協力して勝利する喜びを分かち合う
- 教員向けの実技研修会も合わせて実施し、サッカーをテーマに体育授業を実践するためのコツや具体的な方法を伝達した。



【コーディネーショントレーニング】

コーディネーショントレーニングに関して

は、平成29年度に引き続き、現場の教員向けの研修会や小学校の体育授業における効果検証等を継続実施中である。また、昨年度の課題に挙がっていたアウトソーシングに関しては、2019年度に国際学会での発表や論文での報告等を行う予定である。

平成30年度においては、次の3点に重点を絞り、研究活動を行った。

(1) 書籍（マニュアル）およびDVDの作成

福岡市教育委員会と共同で作成した体育授業で使えるコーディネーショントレーニングの書籍及びDVDを、2018年4月1日付けで福岡市内全ての小・中学校に配布を行った。2019年度は、配布した書籍及びDVDを実際の体育授業で導入するための方法について、小・中学校教員向けの研修会を実施の予定である。

(2) 教員向けの研修会

- ・2019年1月22日に、北九州市小倉南区における保育士を対象とした研修会（チーム1：宮城由美子教授主催）において、「コーディネーショントレーニング」の講習を実施。

- ・2019年1月31日に、福岡市横手小学校の教

員向けの講習を実施。

(3) 研究調査

昨年度に引き続き、2019年2月下旬から3月にかけて、福岡市内T小学校において、体育の授業でコーディネーショントレーニングを実施した場合の効果について、今年度は運動神経の向上の有無に加え、心理面の変化（ストレス軽減効果）についても検証を行う予定である。

【水泳授業サポート】

2018年6月18日から6月22日までの期間、小学校のプール開きに合わせて、那珂小学校の水泳授業を対象に、本学のスポーツ科学部生が小学校1年生から6年生までの児童の授業サポートを実施した。主な内容としては、競泳4種目の模範泳法、児童の泳力判定テスト補助および技術指導を行った。プール開き第1週のため水温は低かったが、寒さに屈する事なく活発的に楽しく授業をサポートできた。

【スノーケリング教室】

2018年7月5日、本学のスポーツ科学部生が福岡県スノーケリング協会のスタッフと提携して、横手小学校の6年生の児童74名を対象に、90分の2クラスに分けてスノーケリング教室を実施した。スノーケリング教室を実施する前には全く泳げなかった児童が、軽器材（マスク、スノーケル、フィン）を活用することで、水に対する抵抗感や不快感が緩和されて、自発的に25m以上を泳げるようになった。



【体力測定サポート】

今年度は福岡市内にある5校の小学校と福岡市教育委員会より依頼された2校を加えた計7校の小学生児童4163名(男児2060名、女児2103

名)の体力測定をサポートを実施した。今年度は生まれ月と体力の関係について研究を進めてきた。

早生まれの児童は4～6月生まれの児童よりも体力テストの結果が低かった。小学校においては女児より男児にその傾向が見られた。早生まれの児童において運動部・クラブに所属することで体力テストの結果が4～6月生まれと同等レベルにできることが確認できた。

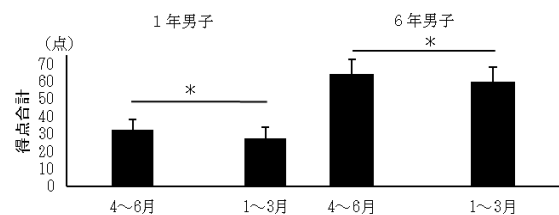


図1. 生まれ月と体力テスト結果の関係

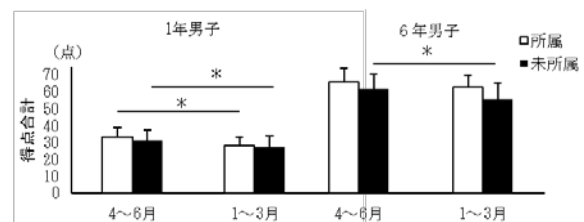


図2. 運動部・クラブ所属状況における生まれ月と体力テスト結果の関係

2. 今後の展開

次年度は平成30年度に続きサポート活動および研究を進めるとともに体力評価結果との連続性・一体感のある内容へ改良、普及に務める。

3. 研究発表

論文発表

- ・福岡市教育委員会&泉原嘉郎. (2018) .体力向上マニュアル.
- ・福岡市教育委員会&泉原嘉郎. (2018) .DVD : 体育授業で使えるコーディネーショントレーニング.

4. 知的財産権の出願・登録状況

特になし